

心も身体も安心安全な職場づくりへの挑戦！ ～心理的安全性の浸透教育～

事業者名：寿精版印刷株式会社
業界・業種：製造業
従業員規模：496人
地域：東京 / 大阪

背景（課題・ニーズ）

<心理的安全性とは：チームやグループの中で、メンバーが自分の意見やアイデアを自由に発言できる環境のこと。>

私たちは、「安全は全てに優先する」という基本理念のもと、各工場で無災害活動の推進中。社内標準化による不安全の撲滅を継続的に行う中で、社員一人ひとりが能力を発揮して活躍できるようにするには、自分の考えを積極的に出し、チャレンジできる環境が、重要だと考えた。

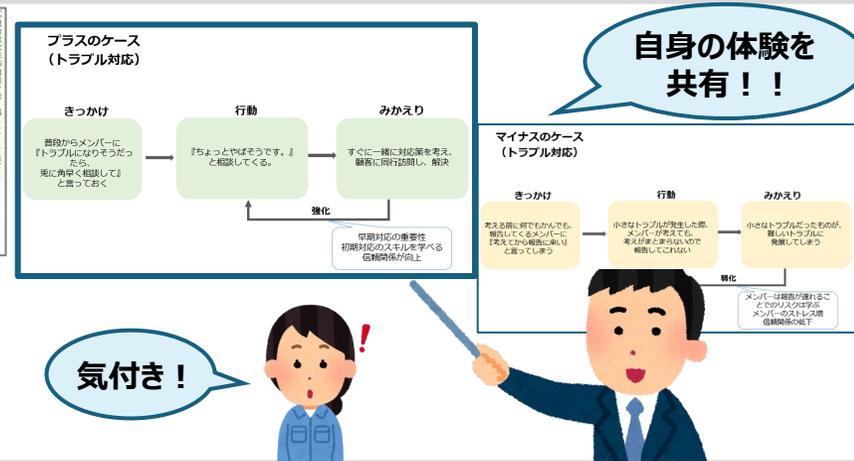
活動内容

①心理的安全性に関する教育の実施。【2021.01.～2021.12.】

2020年9月に発売された、『心理的安全性のつくりかた』を用いて、**トップ経営層から順にマネジメント層全体**に至るまで、段階的な教育機会の設定。教育メンバー内で担当を割り振り、各自が自分なりに教材内容を自身の体験・経験も交えた形でとりまとめ、他者に説明共有。ディスカッション形式での社内メンバー教育を実施。

②学びをもとにした実践。【2022.01.- 現在も取組中】

教育を受けたマネジメント層が、自部署メンバーへ内容共有。出席メンバーが発言しやすい会議体のデザイン設計の検討。



気づき！



やってみての効果

①『心理的安全性の考え方』の浸透：

- ・教育を受けた者が自身の周りの者に教育する。学び合いの連鎖による浸透。
→『心理的安全性』という言葉が、組織内で共通言語化！



②会議体のデザイン設計と共有（意思決定、報告、相談、意見交換・・・）：

- ・会議体を目的ごとにデザイン設計し、参加メンバー内に共有。
→立場を気にせず、自身の意見が言える環境。意見交換による互いの気づき。

今後の展望

心理的安全性ある組織文化の醸成！
『失敗は誰もがするもの。
改善をみんなで実行し、不安全の撲滅と、
チャレンジできる環境の醸成を推進する』

